第6回 ひと☆まち 児童館フォーラム in 仙台

～子どもの豊かさを育む児童文化～

子どもたちの遊びの活動が制限されがちであったこの3年間のコロナ禍を踏まえ、今こそ、子どもたちの豊かな情操を育むための児童館の今日的役割について考える必要があります。そこで、第6回を迎える児童館フォーラムでは、子どもたち、そして私たちにとっての児童文化について、主に仙台・宮城における児童文化活動にスポットを当てながら、所属や地域を越えて共に学び・考える場とします。

日時　令和5年 2/26(日) 13:00―17:00

会場　仙台市 戦災復興記念館
（宮城県仙台市青葉区大町2-12-1）

特別講演　13:00-14:30

児童文化とは「声」である
－仙台児童文化史を振り返りながら－
講師／武蔵野大学 名誉教授 宮川健郎

宮川健郎氏

分科会　14:45-16:15

第1分科会　行きつ戻りつ絵本作り
講師／絵本作家　とよたかずひこ

第2分科会　早苗会における児童文化財の紹介
講師／早苗会（宮城県立保育専門学院同窓会）

第3分科会　地域の子どもたちと児童文化
～旧宮城県中央児童館の活動から～
講師／（特非）せんだい・みやぎ子どもの丘副理事長　新田新一郎

第4分科会　アニメーションでコミュニケーション
講師／白百合女子大学児童文化学科 講師　やたみほ
スマホやタブレットを使った「クレイアニメーション」（粘土を少しずつ動かしながら写真を撮る）作りに挑戦して頂きます。事前にアプリをダウンロードしておいてください。
（スマートフォン、タブレットの場合「Stop Motion 」／iPadの場合「KOMA KOMA」）

第5分科会　おてんとさんの輝き 天江富弥とスズキヘキ
講師／仙台文学館 学芸員　庄司潤子

第6分科会　伝承遊びと児童文化財
講師／（特非）日本子どもと伝承遊び学会
副会長　安藤正樹

分科会報告　16:25-17:00

総合司会
渡辺祥子（フリーアナウンサー・朗読家）

渡辺祥子氏

参加者募集

参加申込方法

令和5年1月16日（月）9時から
主催者ウェブサイト
参加申込専用ページで
受付開始
※先着順（参加定員あり）
どなたでもご参加いただけます。
https://www.hm-sendai.jp/jidoukan/forum/

ライブ配信

主催者YouTubeチャンネルで
ライブ配信予定
（特別講演・分科会報告）
※事前申込不要
主催者ウェブサイト
https://www.hm-sendai.jp/jidoukan/
からアクセスしてください。

公益財団法人
仙台ひと・まち交流財団

主　催／公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
協　力／一般財団法人児童健全育成推進財団
後　援／全国児童館連絡協議会 全国児童厚生員研究協議会
企画協力／（特非）せんだい・みやぎ子どもの丘

第6回
ひと☆まち児童館フォーラムin仙台

～子どもの豊かさを育む児童文化～

日時／令和5年2月26日（日）　13:00-17:00
会場／仙台市戦災復興記念館（宮城県仙台市青葉区大町2-12-1）

特別講演
会場／2階記念ホール

児童文化とは「声」である
－仙台児童文化史を振り返りながら－

参加定員 150名

講 師　武蔵野大学 名誉教授
宮川 健郎

1955年、東京都生まれ。児童文学研究者。立教大学文学部日本文学科卒業。同大学院を修了した1983年、宮城教育大学専任講師、のち助教授。98年まで勤務。このあいだに、故遠藤実氏のあとを引きついで、みやぎ子どもの文化研究所の二代目代表を務める。明星大学教授、武蔵野大学教授を経て、現在、武蔵野大学名誉教授。一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団理事長。日本児童文学学会会長。『現代児童文学の語るもの』（NHKブックス）、『物語もっと深読み教室』（岩波ジュニア新書）など著書編著多数。

第1分科会
会場／2階記念ホール

行きつ戻りつ絵本作り

参加定員 100名

講 師　絵本作家
とよた かずひこ

宮城県仙台市生まれ。絵本に『どんどこ ももんちゃん』〈第7回日本絵本賞〉などの「ももんちゃん あそぼう」シリーズ、「おいしい ともだち」シリーズ、「たのしい いちにち」シリーズ（以上童心社）、『でんしゃにのって』〈厚生省中央児童福祉審議会特別推薦〉などの「うららちゃんののりものえほん」シリーズ、「ワニのバルボン」シリーズ（以上アリス館）、「ぽかぽかおふろ」シリーズ（ひさかたチャイルド）など多数ある。紙芝居も多く、『ぞうさんきかんしゃぽっぽっぽっ』〈第56回高橋五山賞〉、『でんしゃがくるよ』（以上童心社）などがある。

第2分科会
会場／地下展示ホール

早苗会における児童文化財の紹介

参加定員 40名

講 師　宮城県立保育専門学院同窓会
早苗会

宮城県立保育専門学院同窓会の名称です。平成14年3月、52年間の想い出とともに私達の母校、宮城県立保育専門学院が閉校。その当時の職員の方々と同窓会の尽力により学生達が作製した児童文化財が宮城県図書館倉庫に保管されました。それらの作品を整理・貸出活動を行うべく、平成14年8月より宮城県図書館・こども図書室の協力を得て『児童文化活動ボランティア』活動を行っています。

第3分科会
会場／4階第1会議室

地域の子どもたちと児童文化
～旧宮城県中央児童館の活動から～

参加定員 30名

講 師　（特非）せんだい・みやぎ子どもの丘 副理事長
新田 新一郎

学生時代から向山にあった旧宮城県中央児童館でボランティア活動をし、それを基礎に仙台に「アトリエ自遊楽校」を開設。子どもの表現力・創造力を育むワークショップや事業を展開。その他全国の保育士・幼稚園教諭向け研修会、PTA向け講演会も手掛ける。こども環境学会代議員、東北学院大学非常勤講師、全国子ども会育成連合会理事、NPOみやぎ・せんだい子どもの丘副理事長、NPOまち・感動クリエイティブ理事長、仙台幼児保育専門学校校長。

第4分科会
会場／4階第2会議室

アニメーションでコミュニケーション

参加定員 20名

講 師　白百合女子大学児童文化学科 講師
やた みほ

編みメーター。1999年から編み物で作るアニメーション「編みメーション©」を制作。主な作品にNHKプチプチ・アニメ「けいとのようせいニットとウール」シリーズがある。東京都調布市にある白百合女子大学児童文化学科で、制作の講義（絵本、アニメーション、映像など）を担当している。

第5分科会
会場／4階研修室

おてんとさんの輝き 天江富弥とスズキヘキ

参加定員 40名

講 師　仙台文学館 学芸員
庄司 潤子

1973年宮城県生まれ。宮城学院女子大学 学芸学部卒業。1997年より仙台文学館準備室に勤務し、1999年に開館した仙台文学館学芸員に。2016年より学芸室主任。企画展「おてんとさんの90年」や正岡子規展等のほか、2021年夏の「みちのく妖怪ツアー」展、2022年秋の特別展「山内ジョージ 文字絵の世界」を担当。

第6分科会
会場／5階会議室

伝承遊びと児童文化財

参加定員 50名

講 師　（特非）日本子どもと伝承遊び学会 副会長
安藤 正樹

仙台を中心に保育園・幼稚園・児童館・小学校に出向いて独楽やお手玉などの伝承遊びの指導活動。海外（米・英・韓・タイ等）でも活躍。2015年度～小学校3年国語・上（光村図書）に説明文「こまを楽しむ」が掲載される。著書『独楽・独楽』（文溪堂）、全日本独楽回しの会会長、尚絅学院大学子ども学類教授。

総合司会

フリーアナウンサー・朗読家
渡辺 祥子

1991年フリーアナウンサーとして独立。ラジオパーソナリティー、インタビュアー、ナレーター、司会など幅広く活躍。1998年より朗読家としての活動を開始し、活動の場を全国に広げる。バラエティー豊かな表現活動を展開する他、「言葉の力、生きる力」と題した講演や執筆にも取り組む。2022年より、情報誌『りらく』編集長も務める。

主催者問合せ先
（公財）仙台ひと・まち交流財団 子ども育成課
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-12-1
TEL：022-268-5084　　Mail：kodomo06@hm-sendai.jp

会場へのアクセス

仙台市営地下鉄
東西線：大町西公園駅で下車。東1番出口から徒歩6分
南北線：広瀬通駅で下車。西4番出口から徒歩12分